



東京ドームシティ アトラクションズでは、2014年7月18日(金)～9月15日(月・祝)の期間、毎年恒例の夏期限定お化け屋敷を、『恐怖のかくれんぼ屋敷』と題して開催します。

この夏も、お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏による、より恐怖の増したお化け屋敷を夏期限定演出でお届けします。今回のテーマは〈かくれんぼ〉。誰もが幼い頃に経験した遊びにまつわる恐怖のストーリーを背景とした館内で、十年前から隠れたままのある男の子を見つけるというミッションが課せられます。

果たしてミッションを達成し、無事に戻ることができるでしょうか・・・

また、『恐怖のかくれんぼ屋敷』は大阪・梅田(ちゃやまちプラザ)でも、〈かくれんぼ〉をテーマに、異なるストーリー、異なる演出で期間限定開催します。

【開催概要】

- ◎タイトル: 夏期限定お化け屋敷『恐怖のかくれんぼ屋敷』
- ◎開催期間: 2014年7月18日(金)～9月15日(月・祝)[60日間]
- ◎開催時間: 【絶叫篇】10:00～16:00 【超・絶叫篇】17:00～閉園
※【絶叫篇】と【超・絶叫篇】で演出が一部異なります。
※混雑状況により受付終了時刻が変更になることがあります。
- ◎開催場所: 東京ドームシティ アトラクションズ
- ◎料金: 金: 820円 ※【絶叫篇】はワンデーパスポート利用可
- ◎入場規定: 6歳以上
- ◎テーマ: かくれんぼ
- ◎企画・制作: (株)オフィスバーン
- ◎プロデュース: 五味弘文氏
- ◎URL: <http://kakurenbo.info/>



【イメージビジュアル】

【お化け屋敷プロデューサー】

東京ドームシティ アトラクションズのお化け屋敷を「後樂園ゆうえんち」時代の1992年から手がけてきたのが、お化け屋敷プロデューサーの五味弘文氏です。

『人はなぜ恐怖するのか?』(2009年、メディアファクトリー)、『お化け屋敷になぜ人は並ぶのか』(2012年、角川 one テーマ21)に加え、2013年には初の小説「憑き歯～密七号の家」(幻冬舎文庫)を出版。

恐怖を思索し、お客様が喜ぶお化け屋敷とはどういうものなのかを考え続ける五味弘文氏がこの夏、『恐怖のかくれんぼ屋敷』で、東京の夏に恐怖と楽しさをお届けします。



【五味弘文氏】

お客様からのお問い合わせ先: 東京ドームシティ アトラクションズ TEL. 03-3817-6001

【ストーリー・設定】

十年前に隠れたあの子が、今もあなたを待っている……………

もういいかい？もういいよ……

夜になると、この屋敷では子どもの声が聞こえてくるということです。

ようちゃんがあのかくれんぼを続けているのです。

十年が経った、今でもなお……。

十年前、お母さんと二人で暮らしていた小学3年生のようちゃんは、家に一人でいるのが寂しくて、いつも友だちと遊んでいました。

ある日の夕方、空き家でかくれんぼをしていると、友だちのシンくんが言いました。

「夕焼け小焼け」が鳴り終わるまで隠れていた人に、何でもほしいものをあげよう」

ようちゃんは、押し入れに積まれた布団の間に体を忍ばせ、ずっと欲しかったもののことを考えていました。

ようちゃんが欲しかったもの、それは「お父さん」です。

オニになったシンくんに見つかった友だちは次々と帰っていき、残るはようちゃんだけになりました。

「ようちゃん……ようちゃん……」

シンくんは、ようちゃんの名前を呼びながら屋敷の中を歩き回りました。

すると、どこかで同じように「ようちゃん……ようちゃん……」と呼ぶ声が聞こえます。

誰かが戻ってきてくれたんだ。シンくんは、声のする部屋を開けました。

すると、そこには見たこともない男の人が立っていました。

「おじさん、もう何年もようちゃんを探してるんだ。お母さんはさっき見つけたんだけどな」

そう言うと、男の人はシンくんの目の前に右腕を差し出すと、その腕は真っ赤な血に染まっていた。

シンくんは恐ろしくてたまらず、小走りで玄関に向かいました。

ようちゃんは、押し入れの中に身を潜めて、自分を呼ぶ大人の声を聞いていました。

呼びかける声の合間に、乱暴に戸を開けたり何かを倒したりする音が聞こえてきます。

「もういいかい……？もういいかい……？」

恐怖で震える中、遠くで鳴る“夕焼け小焼け”を聞いて、ようちゃんは必死に願いました。

「お父さんがほしい……」

あのメロディーが終わるまで隠れていられたら、お父さんが助けてくれるかもしれない。

「もういいかい？」

その声が、すぐ近くで聞こえました。

「ようちゃん、みつけ……」

男の人の声が、すぐ耳元で聞こえたと思ったら、二度、三度と鋭い刃が突き立てられました。

“夕焼け小焼け”が鳴り終わるまで隠れていられたようちゃんは……、

願いどおり、お父さんに会うことができましたのです——。

この屋敷に入るあなたは、“夕焼け小焼け”が鳴り終わるまでに、ようちゃんを見つけなくてはなりません。

ようちゃんが、見捨てられた深い怨みを抱えながら隠れて待ち続けているのは、十年前に自分を見捨てたシンくんです。

そのシンくんとは……、あなたのことです！

◆梅田お化け屋敷2014「恐怖のかくれんぼ屋敷」

「恐怖のかくれんぼ屋敷」は、大阪・梅田でも五味弘文氏のプロデュースによる、別のストーリーでの「かくれんぼ」をテーマにした期間限定お化け屋敷を開催します。東京、大阪それぞれに違った恐怖体験をお楽しみいただけます。

◎会場：ちゃやまちプラザ(大阪市北区茶屋町17-1 梅田ロフト横 MBS本社1F)

◎期間：7月18日(金)～9月15日(月・祝)

◎料金：1,000円